

世界遺産普及公開講座 in 与論 2025
～ 世界遺産から学ぶ暮らしに活かす地域遺産について考える ～

開催要項

- ◆ 日時 2025 年 6 月 14 日 (土)
14:00~17:00 : 公開講座 (13:30 開場) / 18:00~20:00 : 交流会
- ◆ 会場 ・ 公開講座 : 与論町地域福祉センター ・ 交流会 : 居酒屋ひょうきん (与論町茶花 2297-1)
- ◆ 主催 琉球弧世界遺産学会 (通称 : 琉球弧世界遺産フォーラム)
- ◆ 共催 与論町、与論町教育委員会
- ◆ 支援 沖縄美ら島 JCB カード
- ◆ 後援 環境省沖縄奄美自然環境事務所 (予定)
- ◆ 事前申し込み・参加費 不要 (定員 : 70 名、先着順) 但、交流会は要会費 (4,000 円)
- ◆ プログラム
 - 趣旨説明 世界遺産に学ぶ地域遺産の保全と活用 (10 分)
花井 正光 (琉球弧世界遺産学会会長)
 - 基調講演 史跡「与論城跡」から考える与論の地域遺産 (60 分)
南 勇輔 (与論町教育委員会主査)
 - 話題① 解題 沖縄のグスク、与論のグスク (20 分)
當眞 嗣一 (グスク研究所主宰)
 - (休憩 10 分)
 - 話題② 「与論グスク」に纏わる伝承とその保存活用 (仮題) (20 分)
麓 才良 (与論郷土研究会会長)
 - 話題③ 「おもろさうし」にみえる与論 (20 分)
大城 秀子 (沖縄県文化協会次長)
 - 話題④ 与論の人と自然のリンケージに生物文化多様性を学ぶ (20 分)
当山 昌直 (沖縄大学特別研究員)
 - 話題⑤ やんばるに残るユンヌ (与論島) の生活痕跡 (20 分)
宮城 邦昌 (やんばる学研究会会員)

趣旨

世界遺産の仕組みが世界遺産の登録に限らず、地域の自然・文化遺産をコミュニティに活かす機運の醸成に役立っていることは余り知られていません。条約ができて半世紀、コミュニティにおける地域遺産の利活用へのこの取り組みにより地域づくりに有用なツールとして機能しつつあります。例えば、新たな類型として導入された文化的景観や産業遺産、自然と文化を統合する生物文化多様性の切り口など、いずれも地域遺産の価値づけを担えます。

これらの新たなツールは、既に与論の地域遺産や国立公園に組み込まれている環境文化と通底しており、順応的かつ統合的に地域コミュニティに活かす仕組みづくりに資すものと考えられます。この度の公開講座がこれからの島の地域コミュニティづくりの機運の高まりの一助となるように願って企画しました。

問合せ先 : 琉球弧世界遺産学会事務局 (担当 : 濱口)

電話 090-9477-2301

メール ryusefo@gmail.com